

友の会・星川

能仁寺の紅葉を満喫し大感激

割烹二葉で花籠膳に舌つづみ

中央ろうきん友の会星川支部・秋のバス旅行

秋のバス旅行の参加希望者の受付をしたところ52人の応募があったため、今回は抽選で44人を選ばざるを得ませんでした。残念ながら抽選に漏れた方は、来春のバス旅行に参加希望した場合は、優先で

参加させていただきたく処置を執りました。11月23日(月)当日、早朝に小雨が降りりましたが、集合時間前には良い天気で、気温も10月初旬並みの暖かさ、まさに秋晴れのもとでの旅行



能仁寺にて集合写真



能仁寺境内の紅葉



忠七めし(花籠膳)



中央ろうきん友の会
星川支部
横浜市保土ヶ谷区
川辺町4-1-6
発行責任者 芦沢春樹

TEL 331-1551

となりました。

集合時間の7時30分前には、参加者は横浜駅東口・崎陽軒前に全員が集まり、出発前に業務の関係で参加できない高田支店長の挨拶・見送りを受け、定刻前の7時30分にバスは出発しました。

東名高速横浜ICより途中休憩を入れながら、最初の目的地である武陽山能仁寺へと向かいました。

能仁寺は、1501

年飯能の武将中山家勝が、名僧斧屋文達師を招いたのが始まりとされており、家勝の子・家範が父の冥福を祈るため寺院を創建しました。

寺院本堂北庭として保存されている「池泉鑑賞蓬莱庭園」

は面積324坪あり、天覧山の南急斜面を巧みに取り入れ、背後に枯滝を組み、下部を池泉とした上下二段式庭園の典型的なものとなっております。日本名園百選にも入っています。

参加者は、庭園にうっとりとし見取られ、境内の紅葉に大感激でした。

その後、1851(嘉永4)年創業の松岡酒造は8年連続で金賞を受賞した「帝松」が有名。到着後、社長の説明を受けながら酒蔵見学を行ない、お待ちかねの試飲。社長の酒や部長の

宝を頂くが、いずれも大吟醸のためフルーティー、辛口を求め純米吟醸「蒼」を一口、これが美味しく購入決定。多くの参加者も2000円のクーポンを貰ったせいか購入していました。

続いては、昼食場所は創業260年の「割烹二葉」へと向かい、明治の偉傑・山岡鉄舟が名付け親の日本5大名飯「忠七めし(花籠膳)」に舌つづみをうち大満足。

昼食後は、道の駅「はなぞの」に立ち寄り、地元深谷市・秩父を中心に取そろえた地酒・ワインや農畜産物の加工品などがあり、ここでもクーポン券が大活躍でした。

お土産も購入した後は、途中で煉瓦ファクトリーの深谷駅をチョット見学し、「近代日本経済の父」と称され、2024年7月に発行される1万円札の肖像をデザインされた新札となる、渋沢栄一記念館・資料室や旧渋沢邸「中の家」を見学しました。

全見学行程が終了して、花園ICから横浜駅西口へと向かい、車内で恒例のビンゴゲームを楽しみ、解散地点の横浜駅西口に無事に到着することができました。